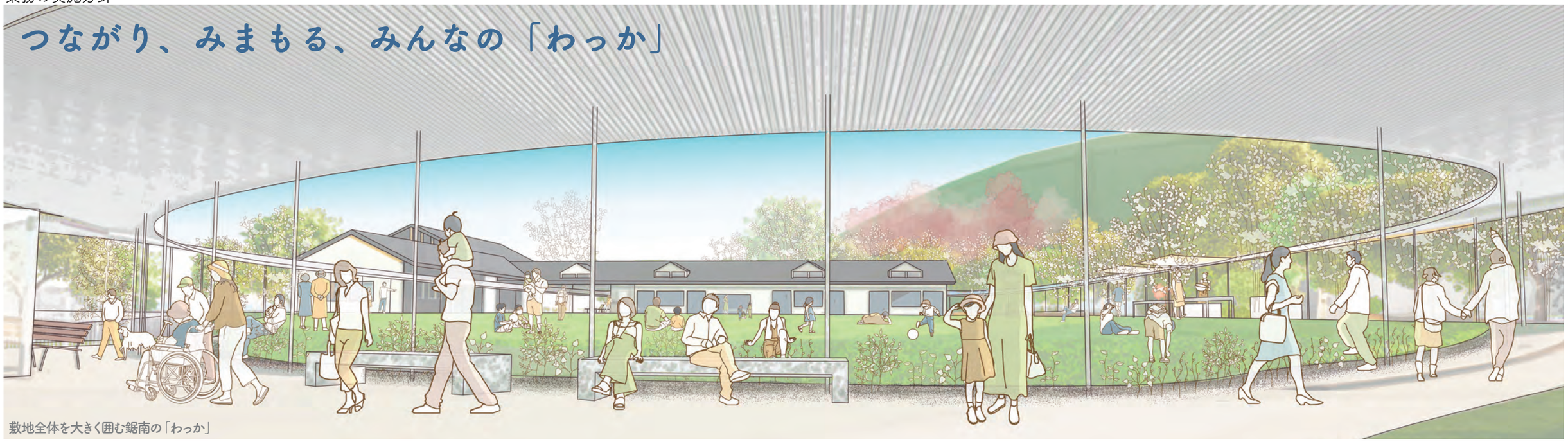
様式第9号
業務の実施方針

つながり、みまもる、みんなの「わっか」



敷地全体を大きく囲む鋸南の「わっか」

設計上特に配慮する要項

敷地全体をつなぎ 鋸南のいまをつなげる 鋸南の「わっか」と「みまもり広場」

1 まちの社会資本を町民につなげる場

鋸南町は豊かな自然、農業・漁業、文化、これらを支える人々に恵まれています。それらが本計画敷地で**循環・交流**する仕組み**鋸南の「わっか」**を提案し**未来への創出の場**をつくります。

2 鋸南の風土で作る、ここにしかない場所

1周すると**鋸南のいま**が分かる「わっか」は町民皆で設えを地域素材で更新し管理します。将来的に北ｴﾘｱを**二拠点居住**希望者の農業体験ｿﾞｰﾝとし、観光客と現地住民の交流の場として**人・モノ・コトを「わっか」でつなげます。**

3 コスト管理を徹底し、持続可能な施設へ

土の搬出入を最小限とするﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟと生態系を計画します。鋸南町の温暖な気候のもと、**地球のｴﾈﾙｷﾞｰ循環にやさしい施設、ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰに配慮した**お年寄り・子供・ペット誰にとっても使いやすい施設をめざします。

4 台風被害の教訓を活かし周辺施設と連携した防災拠点へ

地域の防災拠点として道の駅保田小と連携し、**日常の生活が災害時の備えに連続的につながる**場づくりを考えます。運用時には、「鋸南みまもり隊」結成を検討し、町全体で自主防災を考える機会を増やします。

5 鋸南の魅力ある農業を次世代循環させる

生活の基本である**食の循環**と関連施設の繋がりを、本施設の「わっか」に組み込みます。子育てや移住に関わる活動が食を通して相互に関係を持ち合い、相乗効果で場所が活性化されます。

みんなでつくり・育て・つながり続ける鋸南の「わっか」の3つの育

みんなで"子育て" 子育
子供達が安心して遊べる環境を整備し、鋸南町内・町外の子育てをするママ・パパが交流する場を整備し、子育て世代の新たなつながりを育みます。

みんなで"食べる" 食育
鋸南町の**地産地消を見える化**します。町民と観光客が協力して畑を管理し、食材を収穫、調理するという食のサイクルを敷地全体で体験します。

みんなで"住む" 住育
鋸南町民の活動を積極的に発信し、町への**移住を促進**します。まちのｵﾌｨｽ、防災教室・DIYﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを通して**町民のつながりの拠点**となります。

業務の取組体制・組織図

それぞれの強みを繋げ、官・民・学が連携したプロジェクトチーム

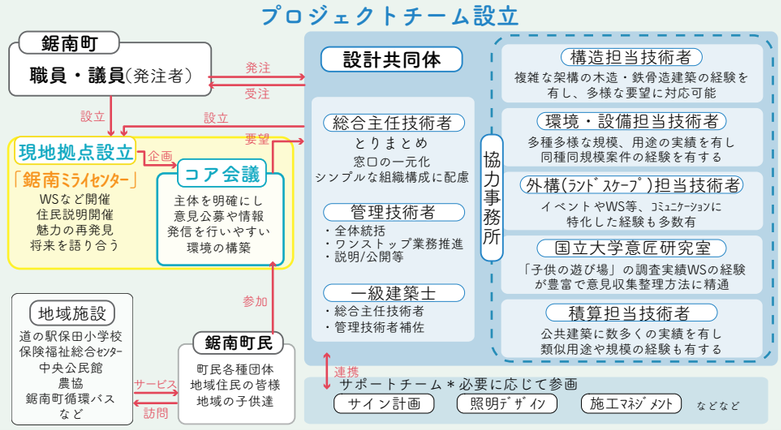
■共につくる三位一体の設計ﾌﾟﾛｾｽ

本計画は、鋸南町の「いままで」と「これから」を一緒に考え、鋸南町のあり方を議論/発信していく機会と考えます。町民・職員/議員・設計者が得意分野で力を発揮し、三位一体の密着型プロセスをつくります。

■ 現地拠点の設立

ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟを通して地域と共に協働しながら、より身近な多くの意見を聞かせて頂く為に、現地拠点**「鋸南ﾐﾗｲｾﾝﾀｰ」**を設立します。これからの地元を引っ張り、活力につなげてくれる人材を共に育てる仕組みを考えます。

プロジェクトチーム設立



設計チームの特徴

多彩な実績をもつ専門家集団による設計チーム

■多彩な実績をもつ担当者が結集

家具・住宅～大規模公共施設まで多様な用途の経験を持つ担当者の配置により、様々な提案や検討を専門的な視点から考察し計画に反映します。地元企業との協働やWSの運営、公園の指定管理など経験も豊富です。

■様々な状況に柔軟に対応できるﾁｰﾑ

機能性や安全性の確保、デザイン性を担保します。また、**昨今の感染症などの時代変化へもまちと共に柔軟に対応できるバランスのとれた設計チーム**で取り組んでいきます。

設計チームにおける建物・外構設計等に関する実績

地域活性化に関する知見

隣接する小学校の跡地と一体的に地域活性化拠点としてリニューアルした事例

自然調和に関する知見

森と繋がる道の建築化を目指した環境学習の拠点

現地拠点に関する知見

地元空き家商店を改修した現地拠点の例

木材を使った建物に関する知見

地域産木材が林立する風景をつくる木造庁舎 (約5000㎡)
こどもが安心して過ごせる木質内装 (約1350㎡)

市民協働に関する知見(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ)

まちづくり構想に則ったｲﾍﾞﾝﾄの総合ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｽ

ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟに関する知見

町民・町・議員・設計者が一体となり、議論を繰り返すWS

コミュニティ型の広場に関する知見

「モノ」主役の広場から「コト」が主役の駅前広場へﾘﾆｭｰｱﾙしｺﾐｭﾆﾃｨ形成を図った事例

屋外広場に関する知見

大学校舎と既存樹木を活かした舞台(芝生空間)

「子供の遊び場」に関する研究

自然の中で発見される「子供の遊び場」の形状・空間構成の調査

設計工程を含む事業全体のロードマップ

経験を生かした、設計業務・コスト管理・町民協議WSの並走工程

■徹底したコスト管理とｽｹｼﾞｭｰﾙ管理

ﾌﾛﾝﾄﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ設計による情報共有にて業務停滞や手戻りを回避し、品質の高い設計成果を実現します。独自ﾚﾋﾞｭｰによる客観的視点での検討や全体的支援による品質/ｺｽﾄ管理など、多様な意見を検証/反映できる体制をつくります。

■協働の手法/地域の中の拠点

当計画は地域づくりの一環と捉え、鋸南町のﾐﾗｲを担う人材育成や協働の手法（WS等）を共に考えます。「鋸南ﾐﾗｲｾﾝﾀｰ」は地元の声を計画に反映する場となり、密にｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図る場となります。

設計工程表（案）

設計工程	2021(R3)年度 4	5	6	7	8	9	10	11	12	2022(R4)年度 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023(R5)年度 1	2	3	4	5
		基本設計（4ヶ月）				実施設計（7ヶ月）							監理業務（12ヶ月）												共用開始	
設計業務フロー	プロポーザル	条件整理		検討案作成		基本まとめ	一般図/詳細図			確認申請準備/減額調整																
		各条件要望整理/法令調査/建築関協議等		配置/基本プラン/内外装等/構造設備外構等検討・保全計画年表作成概略工事工程表作成		基本設計図書作成/概算工事費検討	総合検討/一般図/構造設備外構計画との調整/行政協議内容の反映/追加要望の調整/コスト低減策検討/省エネ申請準備開発行為・農地転用申請準備			最終調整/積算および調整/各種許可申請手続きおよび図面への反映/各種成果物作成/情報発信要料作成補助/解体工事実施設計																
										当初価格		予定価格算出														
ｺｽﾄ管理				ヴォリューム㎡単価チェック			概算工事費算出			積算期間	減額調整期間															
町民協議ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ		幼稚園のプランをみんなで検討		WS-1		WS-2	WS-3 まとめ		模型やCGを活用して議論を行う			WS-4 or Review												WS-5 まとめ		
		使い方や町の未来を一緒に考える		鋸南ﾐﾗｲｾﾝﾀｰ設立																		「鋸南みまもり隊」設立検討				
審査機関手続 役所手続							概算工事費資料提出			確認申請事前																
		事前協議				開発行為設計（3ヶ月）		申請		許認可	公示	本受け												検査		
						農地転用（3ヶ月）						入札	開札													
		各種協議：ﾘｻｲｸﾙ計画書・省エネ・CASBEE・ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ・緑化等												着工										竣工		
施工		幼稚園現況確認								プール等解体外構整備工事		準備期間	施工期間（10ヶ月）													